

# 中小企業景況調査報告書

2021年度第2・四半期（7～9月）



## 目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（100社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所



# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所
- V. 調査対象企業  
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	35
卸売業	10
小売業	16
サービス業	27
合 計	100

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- |         |
|---------|
| 1位3ポイント |
| 2位2ポイント |
| 3位1ポイント |

# 今 期 の 概 況

## 緩やかな回復基調にあるが、先行きは不透明

### 1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、業況、売上、採算のDI値で前期実績を上回り、従業員のDI値で前期実績横ばい、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上のDI値で今期実績を上回り、採算、資金繰りのDI値は今期実績横ばい、従業員のDI値で今期実績を下回る見通し。

#### 指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲21.0から▲17.0(4.0ポイント増)となり、来期は▲15.0(2.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績▲16.0から▲14.0(2.0ポイント増)となり、来期は▲5.0(9.0ポイント増)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲25.0から▲18.0(7.0ポイント増)となり、来期は▲18.0(横ばい)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲9.0から▲17.0(8.0ポイント減)となり、来期は▲17.0(横ばい)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲9.0から▲9.0(横ばい)となり、来期は▲10.0(1.0ポイント減)となる見通し。

### 2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を下回った。

#### 指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲9.0から▲18.0(9.0ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績3.0から▲10.0(13.0ポイント減)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲9.0から▲15.0(6.0ポイント減)となった。

### 3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(28件、25事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

- ① 今期の実績(表3参照)は36件(26事業所)。その主な内訳は、『生産設備』9件、『工場建物』7件、『車両・運搬具』『その他』各6件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は38件(27事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』10件、『車両・運搬具』7件、『工場建物』6件となっている。

### 4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『ニーズの変化への対応』、『仕入等単価の低下・上昇難』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A社（繊維製造業〈紳士服地製造〉）

緊急事態宣言等の影響から、消費者の外出自粛によりスーツなどアウターウェアの落ち込みが大きいですが、一方でホームウェアとしてのニット製品は好調である。

今後さらに製品によって好不調の二極化が進むと予測。

## B社（繊維製造業〈メンズカジュアル企画製造〉）

クライアント企業でS Cにテナント入居している企業及び、インバウンド需要が多かった企業は苦戦しているが、反面、郊外の路面店とネット通販は好調。当社はある程度、消費動向の変化に対応できており、比較的影響は少ない。

## C社（繊維製造業〈染色加工〉）

今年は、秋冬物出荷が例年より早く打ち切られ、長い閑散期に入った。来年の3～6月の繁忙期以外は閑散期といった状況。設備の老朽化、手直し作業経費も掛かり、今後、取引先との工賃単価アップ交渉をしなければ生き残れない。2022年春夏物も芳しくない状況。

## D社（製造業〈静電植毛加工〉）

静電植毛（電力の力を利用して基材（素材）に短繊維を植え付ける）加工は、コロナ禍の経済活動の影響により、卒業証書や宝石等のケースに使われる紙素材の需要が低迷している。

コロナの影響が収まるまで、紙業界の回復は見込まれない。

## E社（建設業〈屋根・外壁工事〉）

従来型である訪問・面談型の営業活動から、WEB 営業活動へと進んでいる。大手の企業は対応が早く受注は安定しているが、比較的小規模の工務店の場合、まちまちである。こうした状況から、受注の偏りがみられるようになり、対応を検討している。

## F社（卸売業〈食品容器等卸売〉）

コロナ禍の影響から祭り、イベントの中止や慶弔行事の縮小による需要停滞により、売上減少が続いている。大多数の国民のワクチン接種によって、これらの行事等が以前のように復活するかどうかによってその後の動向がわかってくる。

## G社（サービス業〈WEB制作・パソコンスクール〉）

オンラインを活用した商談が多くなってきている。進捗管理である工程管理もお客様とはチャットワークやLINE ビジネスなどを活用することが増えている。非対面ビジネスに対してお客様が変化してきている。

スクール事業もオンライン化が好まれ、Zoomなどのオンラインシステム活用の利便性を感じてもらっており、新たな販路開拓に繋がっている。

# 景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R2. 7～9月	R2. 10～12月	R3. 1～3月	R3. 4～6月	今 期 R3. 7～9月	来期の見通し R3. 10～12月
業 況	▲70.7	▲63.9	▲60.0	▲21.0	▲17.0	▲15.0
売 上	▲69.7	▲71.1	▲66.3	▲16.0	▲14.0	▲ 5.0
採 算	▲67.7	▲59.8	▲58.9	▲25.0	▲18.0	▲18.0
資金繰り	▲27.3	▲23.7	▲18.9	▲ 9.0	▲17.0	▲17.0
従 業 員	▲12.1	▲ 9.3	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 9.0	▲10.0

## 業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	35	10	16	27	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (0)	9 (7)	2 (1)	3 (2)	5 (4)	20 (14)	▲ 17.0  (▲15.0)
	不変	8 (11)	11 (17)	5 (6)	7 (8)	12 (15)	43 (57)	
	悪化	3 (1)	15 (11)	3 (3)	6 (6)	10 (8)	37 (29)	
売上	増加	2 (2)	10 (9)	5 (4)	6 (3)	8 (7)	31 (25)	▲ 14.0  (▲5.0)
	不変	6 (6)	11 (17)	1 (3)	1 (8)	5 (11)	24 (45)	
	減少	4 (4)	14 (9)	4 (3)	9 (5)	14 (9)	45 (30)	
採算	好転	1 (0)	7 (5)	1 (2)	2 (2)	7 (5)	18 (14)	▲ 18.0  (▲18.0)
	不変	8 (10)	15 (18)	5 (4)	9 (10)	9 (12)	46 (54)	
	悪化	3 (2)	13 (12)	4 (4)	5 (4)	11 (10)	36 (32)	
資金繰り	好転	1 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (2)	▲ 17.0  (▲17.0)
	不変	10 (11)	24 (24)	9 (9)	12 (12)	22 (23)	77 (79)	
	悪化	1 (1)	10 (9)	1 (1)	4 (4)	4 (4)	20 (19)	
従業員	増加	1 (0)	2 (2)	0 (1)	2 (1)	5 (3)	10 (7)	▲ 9.0  (▲10.0)
	不変	11 (10)	23 (27)	10 (9)	12 (14)	15 (16)	71 (76)	
	減少	0 (2)	10 (6)	0 (0)	2 (1)	7 (8)	19 (17)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

## 新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	26	来期	計画している ※2	27
	(事業所数)	実施していない	74	(事業所数)	計画していない	73

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	2 件	5. 付帯施設	2 件	3 件
2. 工場建物	7 件	6 件	6. O A 機器	5 件	5 件
3. 生産設備	9 件	10 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	6 件	7 件	8. その他	6 件	5 件
複数回答可			合計	36 件	38 件

## 景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R2.7～9月	R2.10～12月	R3.1～3月	R3.4～6月	今 期 R3.7～9月
業 況	▲48.5	▲38.1	▲45.3	▲ 9.0	▲18.0
売 上	▲47.5	▲34.0	▲53.7	3.0	▲10.0
資金繰り	▲23.2	▲12.4	▲21.1	▲ 9.0	▲15.0

## 業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	35	10	16	27	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	5	0	3	5	14	▲ 18.0
	不 変	9	18	6	7	14	54	
	悪 化	2	12	4	6	8	32	
売 上	増 加	2	12	3	4	6	27	▲ 10.0
	不 変	6	12	3	3	12	36	
	減 少	4	11	4	9	9	37	
資 金 繰 り	好 転	1	1	0	0	2	4	▲ 15.0
	不 変	10	24	9	12	22	77	
	悪 化	1	10	1	4	3	19	

# 『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種	順位	内 容		
		1 位	2 位	3 位
建設業		○民間需要の停滞 ○請負単価の低下・ 上昇難	○材料価格の上昇	○従業員の確保難
製造業		○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品ニーズの 変化への対応
卸売業		○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○人件費以外の 経費の増加
小売業		○消費者ニーズの 変化への対応	○需要の停滞	○人件費の増加
サービス業		○利用者ニーズの 変化への対応	○需要の停滞	○人件費の増加 ○従業員の確保難

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
材料価格の上昇	10
材料の入手難	4
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	3
請負単価の低下・上昇難	11
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	1
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	5
民間需要の停滞	11
その他	0
合 計	60

### 製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	24
生産設備の不足・老朽化	18
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	35
原材料の不足	0
人件費の増加	19
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	19
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	6
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	1
需要の停滞	54
その他 (コロナの影響)	2
合 計	195

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	4
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	20
その他 (コロナ禍における需要の停滞)	3
合 計	50

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	3
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	6
消費者ニーズの変化への対応	18
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	3
商品在庫の過剰	3
人件費の増加	7
人件費以外の経費の増加	6
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	6
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	3
需要の停滞	11
その他 (コロナ)	3
合 計	85

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	11
利用者ニーズの変化への対応	30
店舗施設の狭隘・老朽化	10
人件費の増加	15
人件費以外の経費の増加	5
利用料金の低下・上昇難	10
材料等仕入単価の上昇	12
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	11
需要の停滞	16
その他 (高齢化、コロナによる時短営業、コロナ対策)	7
合 計	150

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント



図 2

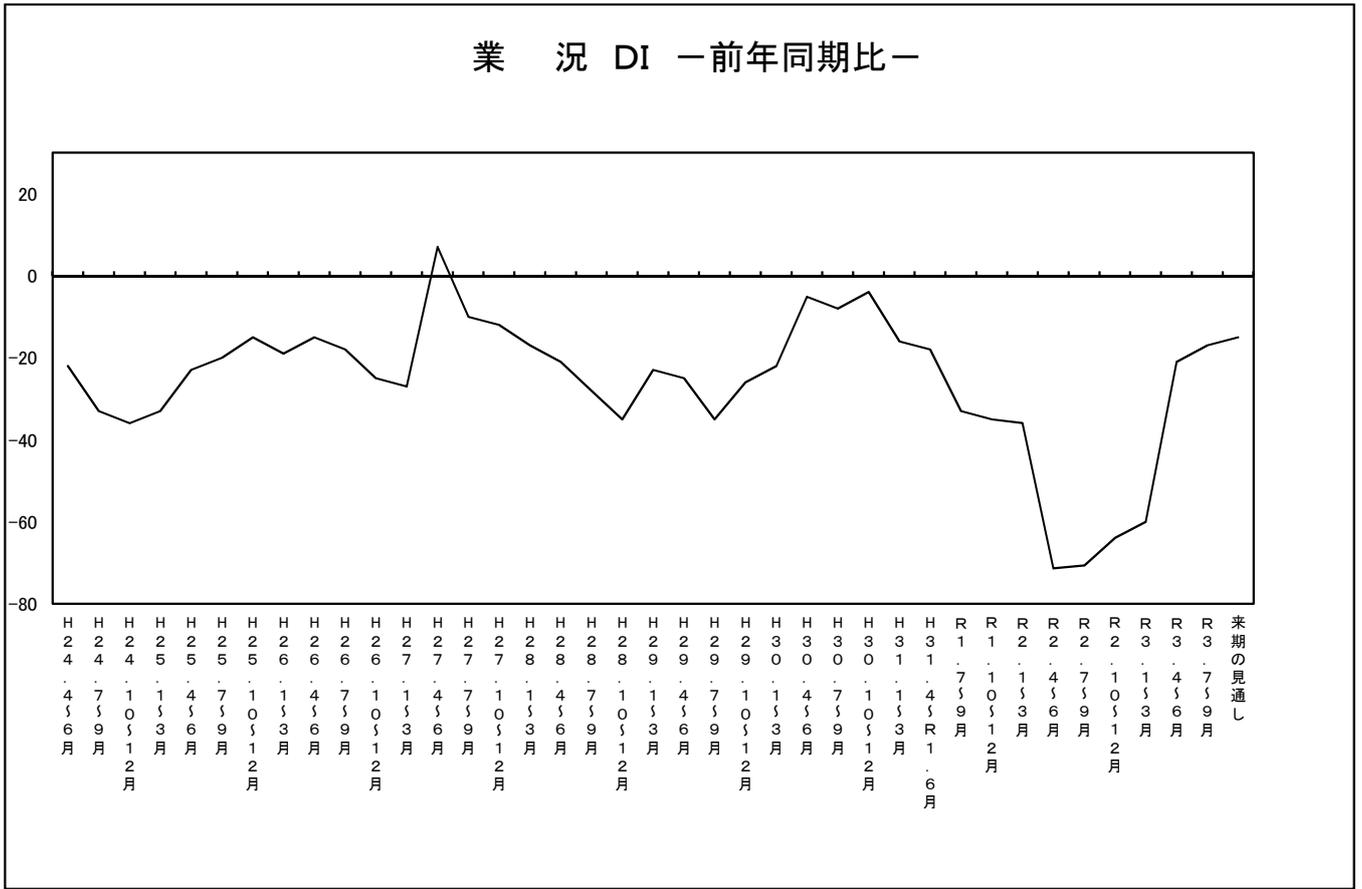


図 3



図 4

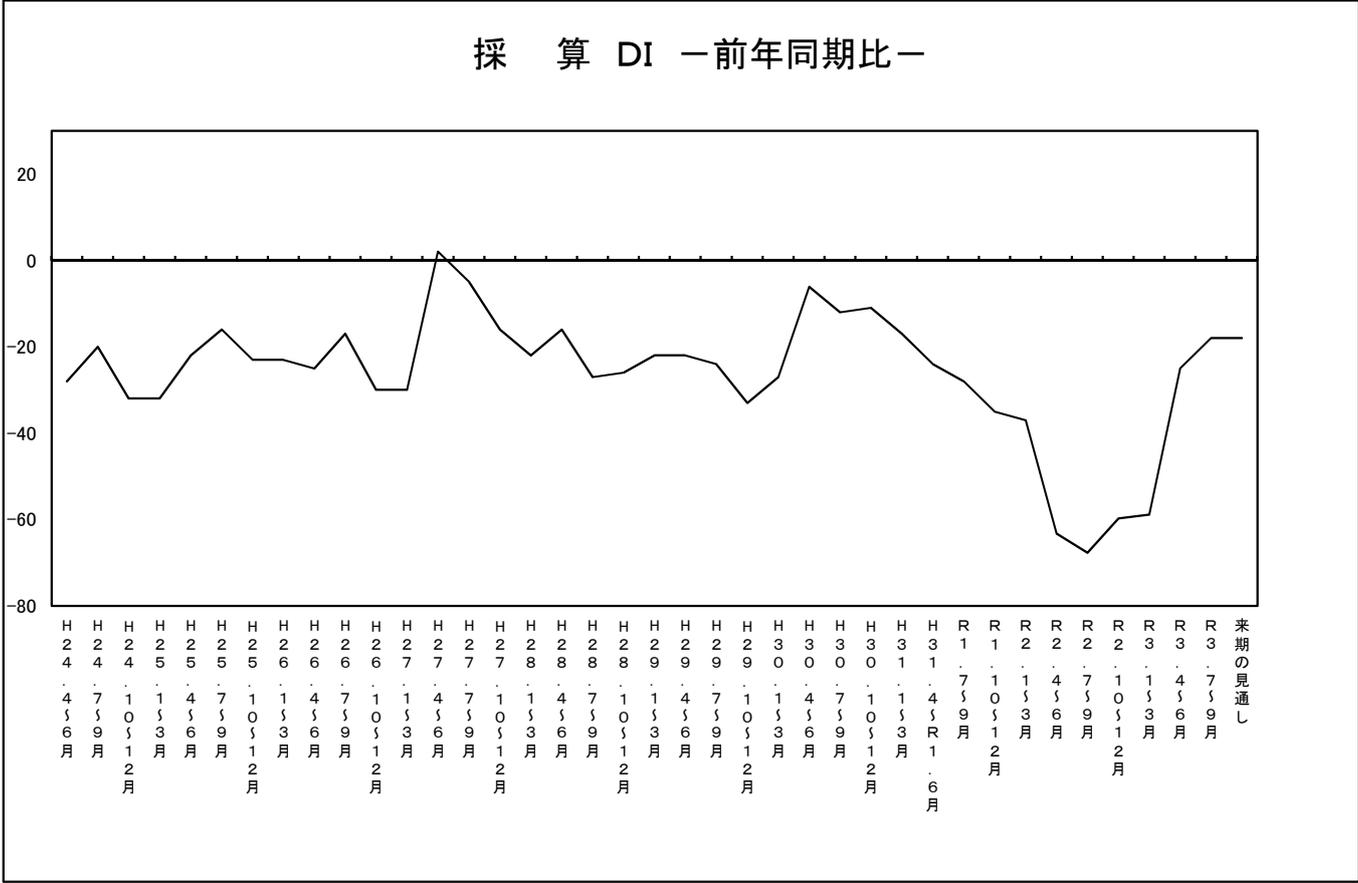
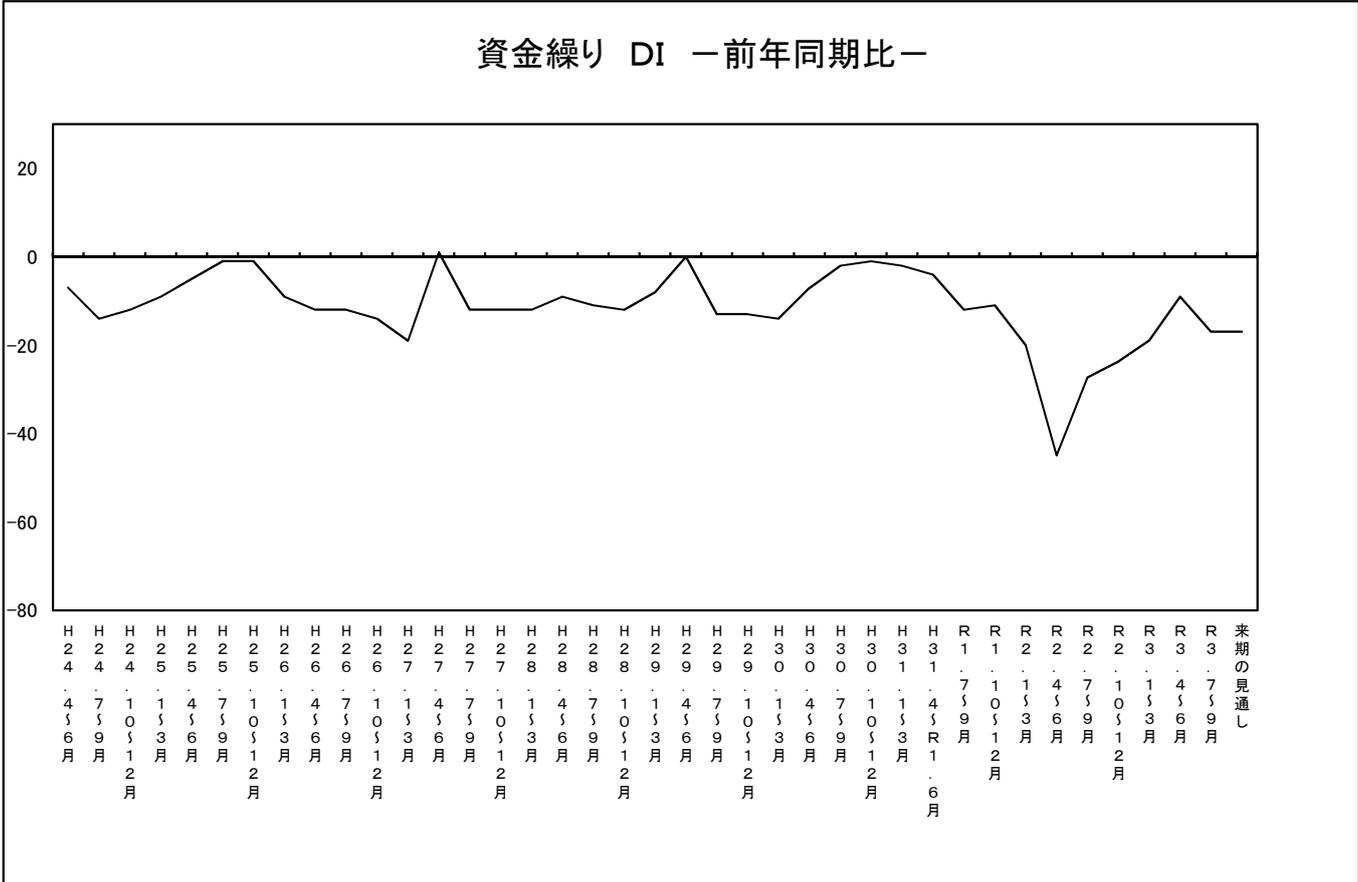


図 5









**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)